

# 概 況

## 1 土地・気象 (P1~5)

### 【気象】(P2~4)

平成 17 年の気象概況は、6 月に 1 日 80.5 mm の雨を観測し、昨年に引き続き年間総雨量が 2,000 mm を超えました。12 月には山沿いを中心に記録的な大雪となり、12 月の降雪量は 347 cm を観測し、昭和 58 年以来の大雪となりました。

### 【土地】(P5)

平成 17 年の民有地面積は 5,609.0ha でした。

平成 17 年の農地の転用実績は 6,649 m<sup>2</sup> でした。

## 2 人 口 (P6~19)

### 国勢調査 (P8~9・15~19)

平成 17 年国勢調査の結果、平成 17 年 10 月 1 日現在の見附市の人口は 42,668 人、世帯数は 12,980 世帯でした。平成 12 年の国勢調査に比べ 858 人 (2.0%) の減少、新潟県の人口は 243 万 1,396 人で見附市は県内 21 市中 14 位となっています。

国勢調査では昭和 22 年に 40,000 人を超え、その後多少の増減を繰り返すものの、全体的には微増傾向で推移し、平成 7 年に 43,760 人で人口のピークをとりました。その後平成 12 年には減少に転じ、平成 17 年も引き続き減少となりました。

### 住民登録 (P6・10・12~14)

住民登録を見ると、平成 18 年 1 月 1 日で人口 43,679 人、世帯数 13,158 世帯となっています。

65 歳以上の高齢人口は 10,233 人で高齢化率は 23.4% となりました。

### 人口動態 (P14)

人口動態を見ると、自然動態では出生 303 人、死亡 452 人で 149 人の自然減、社会動態では転入 944 人、転出 1,129 人で 185 人の社会減となっており、全体として 334 人の減少となりました。

## 3 事業所 (P20~21)

平成 16 年 6 月 1 日現在の事業所数は 2,224 事業所で、前回平成 13 年に比べ 258 事業所 (10.4%) が減少しました。従業者数は 15,274 人で前回に比べ 1,277 人 (7.7%) が減少しました。

産業別事業所数を見ると、大きな増加はなく、製造業 (101 事業所)、卸売・小売業・飲食店 (52 事業所)、教育・学習支援業 (29 事業所)、建設業 (19 事業所) が減少しました。

## 4 農林業 (P22～26)

### 農業 (P22～)

平成 17 年 2 月 1 日現在の総農家数は 1,550 戸でした。そのうち販売農家数は 1,287 戸、自給的農家数は 263 戸でした。販売農家の専業別に見ると、専業農家数 91 戸、兼業農家数 1,196 戸でした。

前回平成 12 年と比べると総農家数で 42 戸 (2.6%) の減少となりました。内訳では販売農家数は 135 戸 (9.5%) の減少、自給的農家数は 93 戸 (54.7%) の増加となりました。専業別では専業農家数は 31 戸 (51.7%) の増加、兼業農家は 166 戸 (12.2%) の減少となりました。

### 農業生産額 (P25)

平成 15 年の農業粗生産額は 4,564 千円で 15 年に比べ 739 千円減少しました。

## 5 製造業 (P27～)

平成 16 年 12 月 31 日現在の従業者 4 人以上の製造業の状況は、事業所数 182 事業所、従業者数 4,782 人、製造品出荷額等は 760 億 6,894 万円でした。

前年と比較すると、事業所数は 18 (9.0%) の減少、従業者数は 258 人 (5.1%) の減少となりましたが、製造品出荷額等は 35 億 137 万円 (4.8%) の増加となりました。

出荷額等の増加は、プラスチック製品、一般機械器具、金属製品、ゴム製品の増加の影響が大きく、繊維関連の出荷額等は大きく減少しました。

出荷額等の 1 位はプラスチック製品、2 位は金属製品となりました。

## 6 商業・金融 (P31～)

### 【商業】(P31～)

平成 16 年 6 月 1 日現在の商業事業所の状況は、事業所数 575 事業所、従業者数 3,407 人、年間商品販売額 721 億 1,247 万円でした。

平成 14 年と比較すると、事業所数は 16 (2.7%) の減少となりましたが、従業者数は 303 人 (9.8%)、年間商品販売額は 42 億 8,897 万円 (6.3%) の増加となりました。

内訳を見ると、卸売業は事業所数 104 事業所で前回比 1 (1.0%) の増加、従業者数 775 人で前回比 4 人 (0.5%) の減少、年間商品販売額は 379 億 3,547 万円 で前回比 17 億 7,277 万円 (4.9%) の増加となりました。小売業は事業所数 471 で前回比 17 (3.5%) の減少であったが、従業者数は 2,632 人で前回比 307 人 (13.2%)、年間商品販売額は 341 億 7,700 万円 で 25 億 1,620 万円の増加となりました。

### 【金融】(P34)

市内金融機関における預金・貯金総額は 2 億 479 万円となりました。貸出総額は 7,259 万円となりました。預金・貯金総額、貸出総額とも前年に比べ増加しています。

各種融資制度の利用者は減少しています。

## 7 建設 (P36～)

### 道路 (P36～37)

市道の実延長は 352,401m で、うち改良済 201,374m (実延長の 57.1%)、舗装延長 313,135m (88.9%) で改良、舗装延長とも伸びています。多くの木橋が永久橋に作り変えられました。

### 建築 (P38)

平成 16 年度における着工建築物は新築件数で 104 件、延べ床面積は 21,250 m<sup>2</sup>、増改築件数は 115 件、13,123 m<sup>2</sup> となりました。新築着工件が 25 件減少しましたが、増改築件数は 30 件増加しました。

## 8 運輸・通信 (P40～)

### 【運輸】

#### 鉄道 (P40)

平成 16 年度の J R 見附駅での乗車人員は 797,525 人 (前年比 19,387 人・2.3%減) で 1 日平均 2,185 人 (前年比 47 人・2.1%減) でした。

#### バス (P40)

一般乗合バスの乗車人員は 777,333 人 (前年比 44,499 人・5.4%減) でした。

#### コミュニティバス (P40)

コミュニティバスの乗車人員は 28,942 人 (前年比 20,584 人・246.3%増) でした。

#### 自動車 (P41)

自動車の保有台数は乗用自動車 13,593 台 (前年比 139 台・1.0%増)、軽自動車 12,429 台 (前年比 250 台・2.1%増) でした。

### 【通信】

#### 郵便 (P42)

平成 16 年度の引き受け郵便物は普通郵便物が 2,672,639 通 (前年比 48,980 通・1.9%増)、小包郵便物が 24,410 通 (前年比 7,262 通・40.5%減) でした。

#### 電話 (P43)

平成 16 年度の電話加入総数は 18,380 でした。

## 9 電気・水道・ガス (P44～)

### 【電気】(P44・45)

平成 16 年度の電灯消費の状況は、契約口数 22,029 件、販売電力は 7,883 万 KWH でした。電力消費の状況は、契約口数 5,138 件、1 億 8,506 万 KWH でした。

### 【水道】(P46～47)

#### 上水道

平成 16 年度の上水道の状況は、給水戸数は 18,595 戸、給水人口は 56,636 人、年間給水量は 796 万 5,125 m<sup>3</sup>でした。

### 公共下水道

公共下水道の状況は処理区人口 31,401 人、水洗化人口は 27,175 人で水洗化率は 86.5%でした。供用開始区域の拡大に伴い、水洗化率が減少しました。

### 農業集落排水

農業集落排水の状況は平成 16 年に杉沢谷地区の供用が開始されたため、整備集落数 15、供用開始区域人口 4,063 人、水洗化人口は 1,981 人で水洗化率は 48.8%となりました。

### 【ガス】(P47)

平成 16 年度の供給戸数は 12,676 戸で年間消費量は 1,138 万 7,243 m<sup>3</sup>で前年に比べ 676,376 m<sup>3</sup>の減少となりましたが、自然減だと考えられます。

## 10 社会保障 (P48～)

### 国民健康保険 (P48・49)

平成 16 年度の国民健康保険の状況は、加入人口 14,827 人、加入率 33.9%で年々増加しています。医療給付状況は 139,593 件、25 億 958 万円で件数、金額とも年々増加しています。一人あたり医療費は 361,530 円で昨年に比べ増加しています。

### 老人保健 (P49)

平成 16 年度の老人保健の状況は、対象人員は 6,214 人、医療給付件数は 158,953 件、給付金額は 37 億 3,555 万円となり、対象人員、医療給付件数、金額とも減少しました。

### 介護保険 (P50)

平成 16 年度の介護保険の状況は、申請者数 1,877 人、認定者数 1,379 人と年々増加しています。給付総額は 21 億 7,182 万円で、こちらも年々増加しています。

### 国民年金 (P51)

平成 16 年度の適用数は 9,124 件で減少傾向にあります。水害及び中越地震の影響により、保険料免除数が 1,053 件(前年比 45 件増)となりました。給付総額は 24 億 465 万円で受給者の減少などにより前年に比べ減少しています。

### 生活保護 (P51・52)

平成 16 年度的生活保護の状況は、715 世帯 1,083 人で前年に比べ減少しました。生活保護費総額も減少しています。

### 保育園児 (P53)

平成 16 年 5 月 1 日の保育園児数は 963 人でした。

## 11 衛生 (P55～)

## **検診**（P55～63）

平成 16 年度の各種検診の受診者数は、基本健康診査 7,028 人、大腸がん検診 3,492 人、肺がん検診 6,217 人、子宮がん検診 722 人、胃がん検診 2,888 人で全ての検診において災害等の影響で受診者数が減少しています。

## **死因別死亡**（P66～67）

死因別の死亡の状況をみると、死亡数 398 人のうち、悪性新生物 131 人、脳血管疾患 63 人、心疾患 62 人となっています。悪性新生物は 5 年間死因の 1 位になっています。

## **ごみ排出量**（P72～74）

平成 16 年度のごみの排出量は 18,254 t で、前年に比べ 678 t (3.6%) 減少しました。内訳をみると、資源ごみ 3,738 t、燃えるごみ 12,552 t、燃えないごみ 673 t、粗大ごみ 1,291 t で、家庭ごみの有料化により燃えるごみが減少しています。リサイクル率は 24.2% で、2.1% 伸びました。

# **1 2 教育・文化**（P75～）

## **児童生徒数**（P75・78～79）

平成 17 年 5 月 1 日の児童生徒数は、幼稚園では 3 校、16 学級、351 人で前年に比べ、5 人の減少となりました。

小学校は 8 校、102 学級、2,447 人で前年に比べ 68 人の減少となりました。

中学校は 4 校、49 学級、1,353 人で前年に比べ 28 人の減少となりました。

養護学校は 1 校、11 学級、28 人で前年に比べ 2 人の増加となりました。

高等学校は 2 校、22 学級、846 人で前年に比べ 19 人の減少となりました。

## **卒業後の進路**（P80～82）

平成 16 年度の卒業後の状況をみると、中学校卒業者の進学者数は 468 人で進学率は 97.5% となりました。市内高等学校卒業者の大学・短大への進学者数は 50 人で進学率は 18.5% となりました。

## **公共施設の利用**（P83～86）

平成 16 年度の公共施設の利用状況をみると、体育施設の利用者数は 95,211 人でした。勤労者家庭支援施設の利用者数は 19,191 人でした。公民館の利用者数は合計で 145,474 人でした。文化ホールの利用者数は合計で 57,070 人でした。図書館の蔵書貸出冊数は 199,666 冊で市民一人当たり 4.5 冊となっています。

# **1 3 市民所得**（P88～90）

平成 14 年度の市内総生産は 993 億 3300 万円でした。経済成長率は -3.6% となりました。一人当たり所得は 2,298,000 円となり、3 年連続減少しています。国民所得と比較すると 80.7%、県民所得とは 84.7% と低くなっています。

# **1 4 治安・災害**（P91～98）

### **火災**（P91～92）

平成 17 年の火災件数は 10 件（前年比 5 件減）で、損害総額 2,157 万円、焼損面積 24,394 a でした。死傷者数は死者が 1 人（前年比 3 人減）、負傷者が 2 人（前年比 2 人減）でした。

### **救急**（P92～93）

平成 17 年の救急の出動状況は、1,318 件（前年比 1 件増）で年々増加しています。搬送人員数は 1,255 人（前年比 10 人減）で、こちらは減少しています。

### **交通事故**（P93～96）

平成 17 年の交通事故発生状況を見ると、274 件で前年に比べ 20 件増加しました。死者数は 5 人で前年の 6 人から 1 人減少しました。事故原因別発生件数を見ると、わきみ運転が 87 件、安全不確認 76 件の順になっています。

### **犯罪**（P97～98）

平成 17 年の見附警察署管内の刑事犯罪等発生件数を見ると、発生件数 434 件（前年比 120 件減）、検挙件数 102 件（前年比 110 件減）、検挙人員 88 人（前年比 77 人減）でした。その約 7 割が窃盗犯となっています。